

県推進協 新会長に松友氏 (福井大教授)



松友一雄氏

教育現場での新聞活用を進める県NIE推進協議会の本年度総会が19日、福井新聞社で開かれた。2003年から会長を務めた寺尾健夫福井大教育学部教授(62)に代わり、松友一雄同大教育学部教授

(48)が会長に選ばれた。県内の教育関係者や新聞・通信社の代表ら委員19人が出席。委員による互選で、本年度から委員となった松友教授を新会長に選出した。松友会長はあいさつで、若者の県外流出に「触れ」新聞を通して福井の良さを知り、福井の課題を考える人材が育ち、いざ福井に戻ってきてほしい」とNIE活動への期待を述べた。大学生の読書



離れにも懸念を示し「家庭と学校が連携し、高校生ぐらいまでの間に新聞を読む習慣を付けることが大事」と強調した。協議会の顧問を務める東

村健治県教育長は「福井県が教育のフロントランナーとしてもう一步先んじるために、読解力を子どもたちが身につけさせる必要がある。新聞は毎朝最初に目に入る活字媒体であり、NIE活動をしっかりと進めてい

加や、教育現場に新聞記者が出向く出前授業の推進など本年度活動を承認した。
(宇野和宏)